



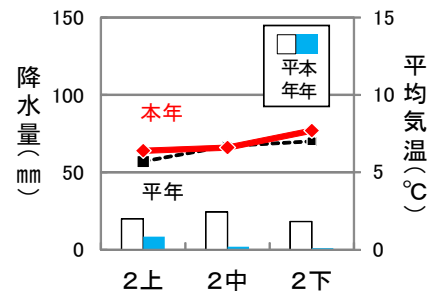
農作業一口メモ

(平成29年3月号)

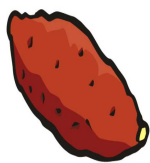
鳴門藍住農業支援センター
鳴門藍住地区農業生活指導班会

気象 <四国地方1ヵ月予報(3月4日~4月3日)>

天気は数日の周期で変わってでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。むこう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。
(平成29年3月2日高松地方気象台発表より抜粋)

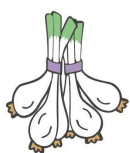


かんしょく育苗、作付け準備について



- 育苗床の地温は、植付け後1週間は15°Cくらいに設定し、その後20°Cに上げるようにしましょう。気温は30°Cを越えないように換気し、徒長を防いでください。乾燥しやすいので、十分にかん水しましょう。
- アブラムシ類、ハダニ類等病害虫の発生に注意し、初期防除に努めてください。
- クロルピクリンを処理する場合は、「クロルピクリン使用上の注意」を再確認していただき、事故が無いように注意して処理してください。

らっきょうく赤枯病の発生に注意しましょう



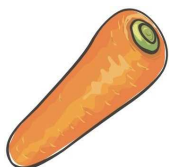
- 年明け頃から、赤枯病の発生が見られるようになりました。4~5月になると、葉の色が抜けて赤枯病の株を発見しづらくなります。茎の部分が赤く伸びている株を発見したら、抜き取り、ほ場外で処分しましょう。
- 一次伝染源は種球と考えられますので、次年度の種球は、発生していないほ場から採りましょう。

ブロッコリーく病害虫の発生に注意



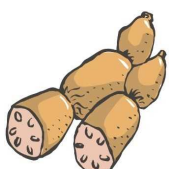
- 気温の上昇とともにアブラムシ、アオムシなどの発生が懸念されるので、苗処理剤等で初期防除を行いましょう。
- 出蕾期に多雨が予想される時は、花蕾腐敗病予防に銅剤を散布しましょう。
- 穫り遅れると品質を落とすので、適期収穫を心がけましょう。
- ほ場が乾燥すると花蕾の肥大が悪くなるので、適宜かん水しましょう。

にんじん <収穫・温度管理について>



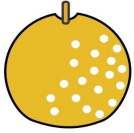
- 10月は種作は、収穫遅れのないように注意しましょう。
- 生育後期は適度な乾燥状態の土壌・ハウス内の保温に努め、裂根や着色不良を軽減しましょう。
- トンネル被覆は、なるべく収穫前まで行うが、高温になりすぎないようにしましょう。

れんこんく施肥と植付について



- 基肥は、土壌分析の結果を参考に、植え付けの7~10日前までに全面に施しましょう。立ち葉2枚目くらいまでは、種レンコンの栄養で育ちますので、緩効性の肥料を選びましょう。
- 種れんこんは、1株2~3芽の無病のものをを選び、芽を傷めないよう、ていねいに植え付けましょう。

なし <ナシヒメシンクイ対策について>



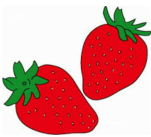
- 慣行のコンフューザーNの5月設置（200本/10a）より、コンフューザーNの3月中下旬設置（150本/10a）＋ナシヒメコンの7月設置（50本/10a）の方が、より低コストではるかに効果的です。

水稻 <は種準備について>



- 本年の水稻栽培の開始が迫っています。余裕を持って、準備作業を行いましょう。
- 種子消毒・浸種（水温10～15℃で8～10日）を適切に行い、十分に催芽後、播種作業を行うようにして下さい。

いちご <さちのかの管理について>



- 3月上旬までを目安に電照を切りましょう。
- 草勢維持と病害虫の防除に努め、ハウス内の通気を良くしましょう（昼間20～23℃、夜温5～6℃で管理）。
- 気温の上昇に伴い熟期が早くなるので取り遅れのないようにしましょう。
- 3月からは親株管理も重要です。特にハダニ・炭そ病対策を徹底しましょう。

レタス <トンネル内の温度管理について>



- トンネル内の温度は、日中25℃以上にならないように管理しましょう。具体的な管理温度は、外葉生育期は20～25℃、結球開始から収穫直前までは20℃を目安とします。

たまねぎ <3月の管理について>



- 中晩生の品種では、3月中旬が止肥の時期です。遅くまで窒素成分を効かせると貯蔵性を落とすことになるので、遅れずに施肥しましょう。
- 気温の上昇とともに、べと病感染株が春先に発病するため、越冬罹病株を早期に発見し処分するとともに、早めの防除に努めましょう。

にんにく <3月の管理について>



- 主な病気は、多雨多湿の環境で発生しやすくなります。定期的（7～10日おき）に銅剤（Zボルドー）を予防散布するのが望ましいですが、できない場合は、大雨や風の強い日の前後には予防散布をしましょう。また、水が溜まらないように排水管理をしましょう。
- 雑草の発生状況をみながら、除草剤を散布しましょう。

◆◆クオルピクリン使用上の注意◆◆ <環境と健康に配慮した土壌消毒を行いましょ>

- 圃場周辺や近隣への配慮、連絡をしましょう。特に住宅付近では十分に注意してください。
- 作業を始める前に必ず注入機が正常に作動するか確認しましょう。
- 必ず正しい防護衣・保護具を着用してください。また作業中に臭気を感じたら、すぐに吸収缶を交換しましょう。
- 作業中およびくん蒸中に、圃場に人や家畜が立ち入らないように注意しましょう。
- 民家周辺では3月10日頃までの気温の低い時期に使用を終わらしましょう。
- 最高気温が20℃以上になると予想される日は、行わないようにしましょう。
- 枕地の土壌消毒とマルチ被覆は確実にいきましょう。
- 適正な水分件（砂を握ってはなすと割れ目ができる程度）で実施しましょう。
- 空き缶は、周囲に影響のない場所で、倒れないように逆さまに置き、薬臭が完全に無くなるまで放置してください。